

# 第70期 株主通信

2020年4月1日から2021年3月31日まで

人と技術を活かし、  
常に社会から  
必要とされる集団を  
目指す。



## トップメッセージ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、2020年4月1日から2021年3月31日までの事業の概況等についてご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 大野 達也

### 吸収合併について

当社は、OSJBホールディングス株式会社との間で、2021年4月1日に、OSJBホールディングス株式会社を消滅会社、当社を存続会社とする吸収合併を行い、親会社としてこれまでのグループ各社の運営を引継ぎました。

当社グループを取り巻く経営環境は、防災・減災対策や将来を見据えたインフラ老朽化対策の推進、整備新幹線やリニア中央新幹線プロジェクトの推進、全国の高速度道路の大規模更新工事及び4車線化等の事業が引き続き展開され、今後の建設需要は底堅い見通しではありますが、技能労働者の担い手確保、ICT等の技術革新による生産性の向上、現場の長時間労働の是正といった働き方改革への対応等、課題も山積しております。

当社グループは、2014年4月に、各事業会社に対し明確な責任と権限を与え、持株会社の強力な統制のもとに機動的かつ柔軟な経営判断を可能にすることを目的として、純粋持株会社体制へ移行し、事業を運営してまいりました。しかしながら、今般、足元の環境変化に対応すべく、より迅速で果敢な経営の意思決定を行うための取締役会の実効性の向上を議論する中、持株会社の取締役会と当社の取締役会での重複感や非効率性が課題認識され、ここ数年取締役会で議論を重ねた結果、持株会社のOSJBホールディングス株式会社を吸収し、グループ再編を行うことを決意いたしました。

持株会社体制の解消により、意思決定の迅速化に加え、追加的な運営コストの削減や経営効率の改善が可能とな

### 経営理念

人と技術を活かし、  
常に社会から必要とされる  
集団を目指す。

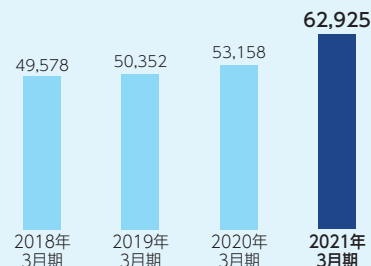
### 連結決算 ハイライト

2018年3月期から  
2021年3月期まで

※2021年3月期以前は、  
OSJBホールディングス  
株式会社の情報です。

Highlight

### 売上高 (単位:百万円)



り、同時に取締役会で定める戦略や方向性がより明確になるものと考えております。今後は、経営資源(人材、資金、施設など)をグループ全体でより機動的に共有・有効活用し、さらなる業績向上につなげてまいります。

合併後は、監査等委員会設置会社として当社の経営体制を継続し、これまで以上にグループ企業の監査・監督機能を強化し、業務執行決定権限の取締役への委任等意思決定及び執行の迅速化を図ってまいります。

### 当期の事業概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、内外における新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況にあります。輸出はアジア向けの増加を中心に全体的に緩やかな持ち直しがみられ、生産も鉱工業を中心として回復基調にあります。感染症の影響により大幅に悪化していた企業収益も引き続き非製造業での弱さはみられるものの、総じてみれば改善しております。しかしながら一部個人消費持ち直しの動きに足踏みがみられることから、感染症拡大による下振れリスクの高まりを注視する状況が続いております。

一方、公共投資につきましては、国の令和2年度一般会計予算の補正予算で講じられた約2.4兆円の予算措置

と前年度同水準を確保した令和3年度一般会計予算と合わせることで、公共事業関係費全体は前年度並みの8.5兆円となっております。加えて公共工事請負金額も対前年同期比3,400億円増の102.3%の実績となっていることから、高い水準を維持する予算額執行の効果発現と併せ、引き続き堅調に推移していくことが見込まれております。

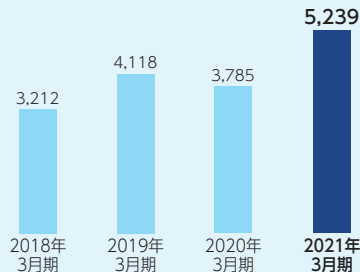
このような状況におきまして、当社グループ全体で受注活動に取り組んだ結果、当連結会計年度の受注高は、611億9千2百万円(前年同期比6.5%減)となりました。前連結会計年度において、建設事業、鋼構造物事業で例年を上回る実績であったため、前連結会計年度比では減少とはなりましたが、例年の水準を確保しております。

当連結会計年度の主要な受注は、以下のとおりであります。

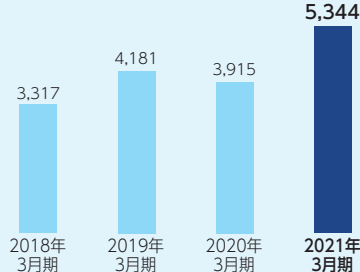
#### 建設事業

- **ニューマチックケーソン工事**  
国土交通省近畿地方整備局  
[長殿道路1号橋P1橋脚工事]
- **コンクリートの新設橋梁工事**  
東日本高速道路株式会社  
[横浜環状南線神戸橋(PC上部工)工事]
- **橋梁の補修補強工事**  
中日本高速道路株式会社  
[北陸自動車道(特定更新等)富山IC~立山IC間床版取替工事(その2)]

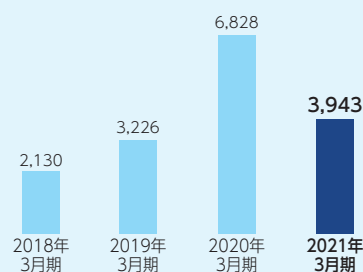
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



## トップメッセージ

### 鋼構造物事業

#### ● 鋼構造の新設橋梁工事

群馬県

「補助公共道路築造事業(国道・連携)(仮称)新大國橋上  
部工製作架設工事」

#### ● 橋梁の補修補強工事

西日本高速道路株式会社

「令和2年度沖縄自動車道(特定更新等)許田高架橋南他1  
橋床版取替工事(その1)」

当社グループの当連結会計年度における売上高は前連結会計年度に比べ18.4%増加し629億2千5百万円となりました。建設事業、鋼構造物事業とともに、総じて工程の遅れもなく順調に推移したことで前連結会計年度比で増加となりました。また大規模更新事業等の工事の発注規模の大型化、長期化等から受注残高は、764億6千1百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

当連結会計年度における売上原価は前連結会計年度に比べ17.8%増加し531億6千2百万円となりました。売上総利益は前連結会計年度に比べ21.7%増加し97億6千2百万円となりました。売上高の増加に伴い、前連結会計年度と比べて売上原価、売上総利益ともに増加となりました。

当連結会計年度における販売費及び一般管理費は、減価

償却費等の増加により前連結会計年度に比べ6.8%増加し45億2千2百万円となりました。営業利益は前連結会計年度に比べ38.4%増加し52億3千9百万円、経常利益は前連結会計年度に比べ36.5%増加し53億4千4百万円となりました。

当連結会計年度における親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度に比べ42.2%減少し39億4千3百万円となりました。これは、前連結会計年度において有形固定資産の売却による売却益59億4百万円を計上したことによるものです。

### 株主還元について

2021年3月期の期末配当につきましては1株当たり8円とさせていただきます。

当該吸収合併に先立ち、2020年12月23日開催の臨時株主総会において、2021年3月期の期末配当に代えて、当該合併の効力発生日の前日である2021年3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された普通株主様又は登録株式質権者様に対し1株当たり8円の剰余金の配当を行うことを決議し、その支払義務を当社が承継したことによるものです。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

	2021年3月期(実績)	前年同期比	2022年3月期(予想)	前年同期比
売上高	62,925百万円	18.4% 増 ▲	64,000百万円	1.7% 増 ▲
営業利益	5,239百万円	38.4% 増 ▲	4,500百万円	14.1% 減 ▼
経常利益	5,344百万円	36.5% 増 ▲	4,500百万円	15.8% 減 ▼
親会社株主に帰属する当期純利益	3,943百万円	42.2% 減 ▼	3,000百万円	23.9% 減 ▼
1株当たり当期純利益	33.47円	—	25.44円	—
1株当たり配当金	8.00円	—	8.00円	—

※2021年3月期は、OSJBホールディングス株式会社の実績です。

## セグメント別概況

### 建設事業

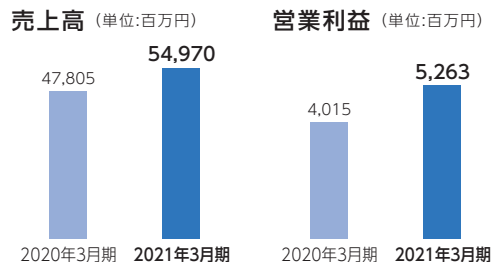


柳島高架橋工事

売上高 **54,970**百万円

当セグメントの売上高は549億7千万円(前年同期比15.0%増)、セグメント利益(営業利益)は52億6千3百万円(前年同期比31.1%増)となりました。前年同期比で主に新設橋梁工事・補修補強工事において売上高が増加し、利益についても増加となりました。

営業利益 **5,263**百万円



### 鋼構造物事業

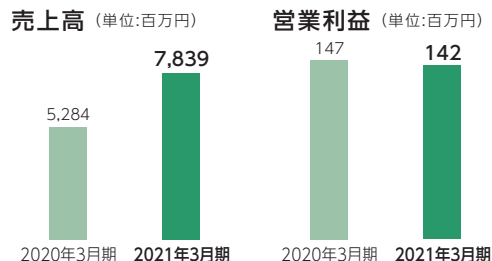


早津江川橋上部工事

売上高 **7,839**百万円

当セグメントの売上高は78億3千9百万円(前年同期比48.3%増)、セグメント利益(営業利益)は1億4千2百万円(前年同期比3.8%減)となりました。前年同期比で主に補修工事においては順調であり、売上高が増加しましたが、利益については僅かに減少となりました。

営業利益 **142**百万円



### その他

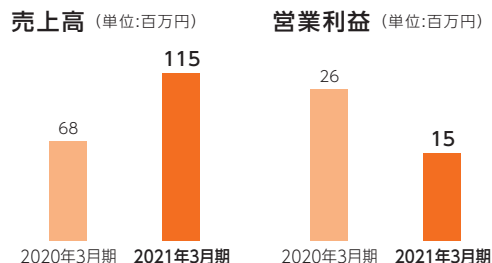


西脇太陽光発電所

売上高 **115**百万円

太陽光発電による売電事業及び不動産賃貸事業により、売上高は1億1千5百万円(前年同期比68.9%増)、セグメント利益(営業利益)は1千5百万円(前年同期比41.2%減)となりました。

営業利益 **15**百万円



※2021年3月期以前は、OSJBホールディングス株式会社の情報です。

## ▶ 中期経営計画基本方針・骨子

### 計画の位置づけ

『2030年のあるべき姿』を実現すべく、グループの強みを活かした事業展開を進め、競争力及び企業価値の向上を図る!

### 基本方針

<b>1</b> 課題解決への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国土強靱化、インフラ老朽化対策、経済活性化、地方創生の課題解決への貢献</li> <li>● これを企業業績の向上につなげる</li> </ul>
<b>2</b> 深める! 広げる!	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主力事業のさらなる強化に加え、新規事業、海外事業等へ事業領域を拡充</li> <li>● 競争力の強化と生産性の向上に資する研究開発と戦略的投資に注力</li> </ul>
<b>3</b> 筋肉質そしてフレキシブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人材育成を通じた体制強化とダイバーシティを推進し、筋肉質でフレキシブルな組織を目指す</li> <li>● リスクマネジメント、モニタリング体制を強化、グループシナジーの発揮、BCPを実践</li> </ul>
<b>4</b> 有形・無形の企業価値向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安定的な配当継続を目指す</li> <li>● 環境事業を進めるとともに社会貢献に努める</li> </ul>

### 施策

数値目標	事業計画	構造計画	投資計画	SDGs
------	------	------	------	------

## ▶ 数値計画

2021年2月19日付で山木工業ホールディングス株式会社を子会社化したことや、高速道路の大規模更新工事等が順調に進捗していること等の理由により、2023年3月期の経営指標目標を下記のとおり修正いたしました。

	2021年3月期(実績)	2023年3月期(予想)		
		当初目標	修正目標	増減
売上高	62,925百万円	58,000百万円	65,000百万円	7,000百万円
経常利益	5,344百万円	4,300百万円	4,800百万円	500百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	3,943百万円	2,900百万円	3,200百万円	300百万円
自己資本当期純利益率 (ROE)	11.3%	8%以上	修正なし	
配当性向	23.9%	40%程度	修正なし	
総還元性向	31.8%	40%以上	修正なし	

\*2021年3月期は、OSJBホールディングス株式会社の実績です。

## ▶進捗状況

### ●セグメント別

新設橋梁	ニューマチックケーソン・一般土木	補修補強	PC建築	製品・新規・海外事業	港湾事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>北陸新幹線工事等で売り上げを伸ばす</li> <li>上下部一式工事等がピークを過ぎるも、2024年3月期売上増めざし、4車線化、6車線化等のプロジェクトに対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型工事数件の着工が若干遅れるも一定の売り上げは確保</li> <li>治水関係の大型ニューマが動き出し、橋脚基礎基数も増加傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好調な受注、大型の設計変更により、大幅な増収</li> <li>グループで、床版・桁の取替、耐震補強に対応し、さらなる売り上げ増を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレキャスト件数は増加傾向にあるものの、大型工事の延期で計画にショート</li> <li>プレキャスト技術の開発が進み、提案のバリエーションが増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型工事のコンクリート工場製品に加え、IH周辺事業も漸増し、不動産事業も開始</li> <li>海外工事は現状不透明であるが、工場製品に加え、IH周辺事業、環境事業等新規事業をスタート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山木工業がグループに加わった</li> <li>港湾事業ならびに地域での強みを活かす</li> </ul>

### ●事業計画 | 生産性向上施策

施策	進捗
提案から施工までBIM、CIM活用	→ 10件の案件にBIMで提案
ニューマ工事の複数台ショベル自動掘削	→ 京都府香龍ポンプ場で複数台ショベル自動運転試行
コンクリート部材のプレキャスト化推進	→ 土木、建築でコンクリート32,200m <sup>3</sup> をプレキャスト化
締固め不要な高流動コンクリート使用	→ 関東工場で桁製作に中流動コンクリート使用
ドローン、レーザー計測システムの導入	→ 河津IC橋他8橋でドローンによるレーザー計測を実施
RPA、ICTを駆使した業務効率化	→ RPAやOCRにより、176人工の省人化を実現
業革推進部の現場支援	→ 高速道路や国交省、県工事など27工事で支援実施

生産性  
10%UP  
前中計期間  
実績対比

生産性  
14%UP  
前中計期間  
実績対比

### ●構造計画 | 生産性向上施策

働き方改革による、魅力ある職場を目指すための取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>完全週休2日に向けモデル現場で4週8閉所推進</li> <li>テレワーク、時差出勤、リモートでの会議や社内監査、安全パトロール等多様な働き方、管理方法を推進</li> <li>社員のライフイベントに合わせた育児関連等規定や高齢者継続雇用の基準見直し処遇改善を実施</li> </ul>
人材戦略
<ul style="list-style-type: none"> <li>大学との共同研究やインターンシップを通じた事業PRと多様なアプローチで採用活動を推進</li> <li>客観的成長度合いを見える化し、フィードバックを活性化する育成システム導入</li> <li>協力を通じて建設キャリアアップシステムを推進</li> <li>つくば機材センターにニューマ研修施設を建設</li> </ul>
BCP
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス対策本部を設置、グループ内で感染防止対策、クラスター防止対策を徹底</li> <li>グループリスク管理委員会で各社重点リスク対応策の進捗をモニタリングし、リスクコントロールを実施</li> </ul>
ガバナンス
<ul style="list-style-type: none"> <li>4月1日よりテクニカル上場。グループ再編に伴い、オリエンタル白石が親会社として監査等委員会設置会社へ移行し、取締役会の監査・監督機能を強化</li> </ul>

### ●投資計画 | 進捗

### 設備投資・研究開発投資により、競争力向上・安定収益を目指す

項目	投資額(5ヶ年)	進捗(金額)
■ 生産能力向上(設備投資)	工場、機材センターの機能増強 ニューマ機械増設と仕様増強 IoT、AI、ロボット投資 70億円	ニューマ機械増設と仕様増強 工場等遠隔管理設備 等 12億円
■ 生産体制強化(M&A外注等)	地域建設会社、周辺事業会社のM&A 現場支援機能の外注 人材育成・教育投資 40億円	山木工業M&A ニューマ研修施設 等 38億円
■ 研究開発(技術提携等)	技術研究開発 産官学との共同研究 異業種との共同開発 30億円	大学等との共同研究含む 技術研究開発 4億円
■ その他(新規事業)	海外事業(共同工場・現地企業買収) 国内事業(循環型植物工場、周辺事業) 30億円	循環型植物工場 着手
■ 不動産	賃貸不動産物件等 30億円	都心の賃貸オフィスビル 25億円
■ 5ヶ年投資額合計	200億円	約80億円

### ●SDGsへの取り組み SDGsの達成に向けて「わがグループらしさ」をもって貢献



## 独自の工法と特化技術で社会基盤を創造する



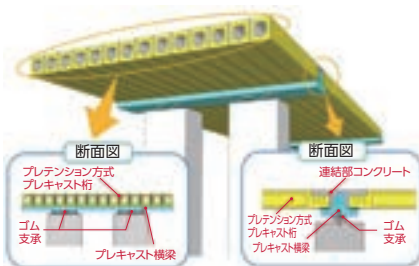
ホームページのご案内  
<https://www.orsc.co.jp/>

### 会社概要 (2021年4月1日現在)

商号	オリエンタル白石株式会社
創業日	1952年10月21日
資本金	10億円
従業員数	728名
事業内容	プレストレストコンクリートの建設工事および製造販売、ニューマチックケーソンの建設工事、補修補強の建設工事、耐震補強建築工事の設計・施工、建設資材の販売、太陽光による発電事業およびその管理・運営ならびに電気 の供給、販売
所在地	東京都江東区豊洲五丁目6番52号
代表者	代表取締役社長 大野 達也

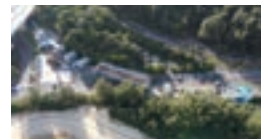
### 現場紹介 億首川橋(下り線)他1橋床版取替工事

沖縄自動車道の北部区間(石川IC~許田IC)は、沖縄海洋博覧会の関連事業として1975年に開通しました。この道路は亜熱帯地域に位置し、飛来塩分も多く厳しい腐食性環境にあり、加えて建設当時は塩分総量規制前でコンクリートの材料である海砂が十分に脱塩処理されていない状態で使用されたため、供用後、塩害による劣化が生じています。幸喜橋では、今後の維持管理も含めたライフサイクルコストを踏まえて評価し、RC中空床版橋の架替えを【SCBR工法】にて行っています。



【SCBR工法】とは、橋梁のノージョイント化による騒音の低減と維持管理の簡易化などを目的として採用される、プレテンション方式PC桁の新しい連結構造です。

工事名称	令和元年度 沖縄自動車道(特定更新等)億首川橋(下り線)他1橋床版取替工事
発注者名	西日本高速道路株式会社 九州支社
工事場所	沖縄県国頭郡金武町字平川原(億首川橋) 沖縄県名護市字許田手水原(幸喜橋)
工期	令和2年3月18日~令和4年3月7日(720日間)
工事概要	床版取替え(SLJスラブ工法) 208枚 中空床版取替え(SCBR工法) (80+20)本 壁高欄取替え(フック壁高欄) 180基 塗替え塗装(IH式塗膜剥離工法) 18,900m <sup>2</sup> 桁端溶射(TAPS工法) 360m <sup>2</sup> ボルト取替え(Al・Mg溶射ボルト) 72,480本 支取替え(ゴム支承) 1式 耐震補強(落橋防止装置・粘性ダンパー・せん断パネル) 1式



横梁架設



主桁架設



## 地域と地域 人と人をつなぎ続ける



### 会社概要 (2021年4月1日現在)

商	号	日本橋梁株式会社
創	業	1919年7月7日
資	本	4,000万円
従	業	108名
事	業	橋梁等の鋼構造物の設計・製作・架設・補修補強工事
所	在	大阪府大阪市西区江戸堀一丁目9番1号
代	表	代表取締役社長 坂下 清信

ホームページのご案内

<https://www.nihon-kyoryo.co.jp/>

### TOPICS 松室大橋「紀寿橋梁生誕祭2020 in 周南」

1920年(大正9年)11月、山口県周南市に建設した松室大橋の紀寿(百歳)を祝う「紀寿橋梁生誕祭2020」が2020年11月に行われました。

本橋は市北部の錦川上流部にかかる道路橋で、錦川第一発電所の建設用に建設されました。移設されることなく現存する鋼単純トラス形式の車道橋としては日本最古であり、有形文化財や近代土木遺産等に登録されています。



感謝状もいただきました!



折り鶴で飾り付けです。



地元の方と清掃しました!



製作当時の様子



## 確かな技術力をもとに、総合サービスでお応えします。



ホームページのご案内

<https://taikoh-giken.co.jp/>

会社概要 (2021年4月1日現在)

商 号	株式会社タイコー技建
創 業	1971年2月1日
資 本 金	2,000万円
従 業 員 数	46名
事 業 内 容	建設機材の設計・製作、建設機械の維持管理、設備工事・技術サポート、 建設工事(ニューマチックケーソン、橋脚耐震補強 等)
所 在 地	茨城県つくば市緑ヶ原一丁目1番地2
代 表 者	代表取締役 松野明浩

### 会社紹介 株式会社タイコー技建

株式会社タイコー技建は、オリエンタル白石の主要セグメントの一つである「ニューマチックケーソン工法」で使用される建設機材の設計・製作および建設機械の開発・保管・管理・整備を通して、ハード・ソフト両面でオリエンタル白石の生産性向上をサポートしています。

また大手ゼネコンや地場ゼネコンから専門工事業として建設工事を請け負う等、社会インフラ整備に貢献しています。

#### (1) 設計・製作・設置工事



マテリアルロック



排土キャリア



ケーソンショベル



鋼殻ケーソン部材



ケーソン刃口金物



消音装置実験状況

#### (2) 設備工事・技術サポート・メンテナンス



排土キャリア  
組立指導・保守



自動減圧装置調整



ヘリウム混合ガス  
システム管制業務



ケーソンショベル整備



電気式自動圧力  
調整装置整備

#### (3) 建設工事

##### ① ニューマチックケーソン工事



大規模工事(道路トンネル)



橋梁基礎工事(道路橋)

##### ② 橋脚耐震補強工事



パイルベト橋脚の補強工事(SSP工法)



RC橋脚補強工事(ピアリフレ工法)

##### ③ 圧入オープンケーソン工事



シールド立坑築造工事



山木工業株式会社

## 港湾・土木・建築工事を営む総合建設会社です。



### 会社概要 (2021年4月1日現在)

商号	山木工業株式会社
創業日	1941年4月1日
資本金	6,000万円
従業員数	84名
事業内容	港湾・土木・建築工事、省エネ建材の販売
所在地	福島県いわき市平谷川瀬3丁目1番地4
代表者	代表取締役社長 小峰良介

ホームページのご案内

<https://www.yamakiind.jp>

### 会社紹介 山木工業株式会社

山木工業株式会社は福島県いわき市の建設会社です。

港湾工事、土木工事、あるいは建築工事まで幅広い分野に携わっており、特に小名浜港を中心とした港湾工事に関しては当社の強みと自負しております。

2021年2月より、オリエンタル白石グループの新たなメンバーに加わりました。今回は、山木工業の代表的な工事実績を紹介させていただきます。



小名浜港



港湾工事 三崎防波堤延長工事



土木工事 常磐道木戸川橋下部工事



南作/青井線道路改良工事



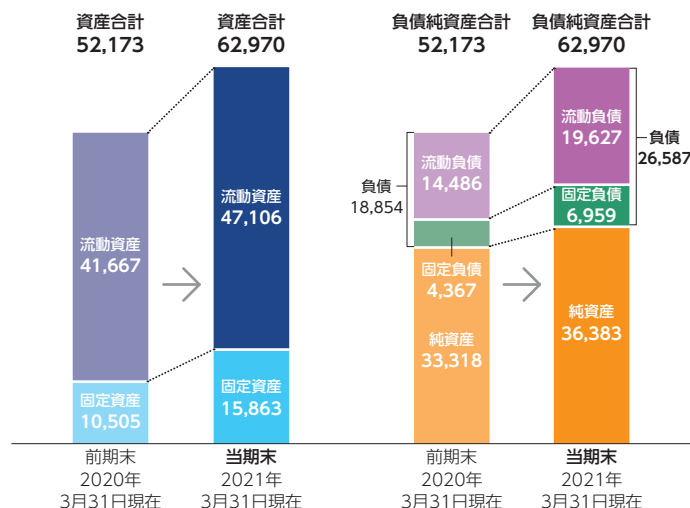
建築工事 災害住宅豊岡団地



災害復興豊岡中学新設工事

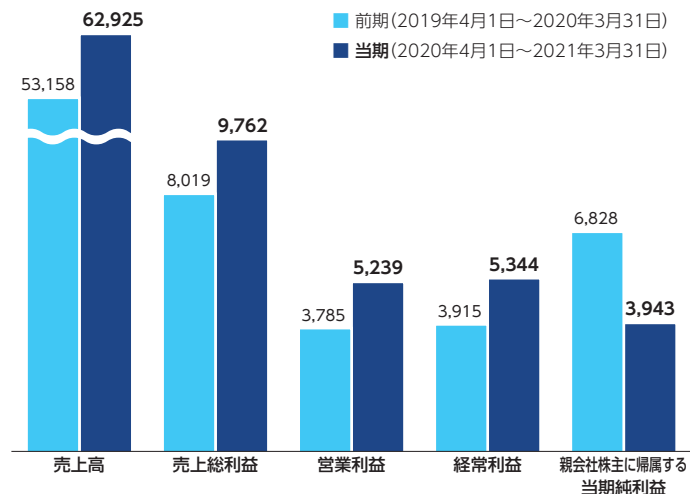
## 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



## 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



### POINT 1 流動資産

流動資産は、前期末に比べ13.1%増加し471億6百万円となりました。これは主に現金及び預金が55億6千9百万円減少しましたが、受取手形・完成工事未収入金が94億2千7百万円、未成工事支出金が26億4千9百万円増加したことなどによるものであります。

### POINT 2 固定資産

固定資産は、前期末に比べ51.0%増加し158億6千3百万円となりました。これは主に土地が21億3千7百万円、のれんが18億6千8百万円増加したことなどによるものであります。

### POINT 3 流動負債

流動負債は、前期末に比べ35.5%増加し196億2千7百万円となりました。これは主に支払手形・工事未払金が14億5千3百万円、短期借入金が11億円、未成工事受入金が12億6千3百万円増加したことなどによるものであります。

### POINT 4 固定負債

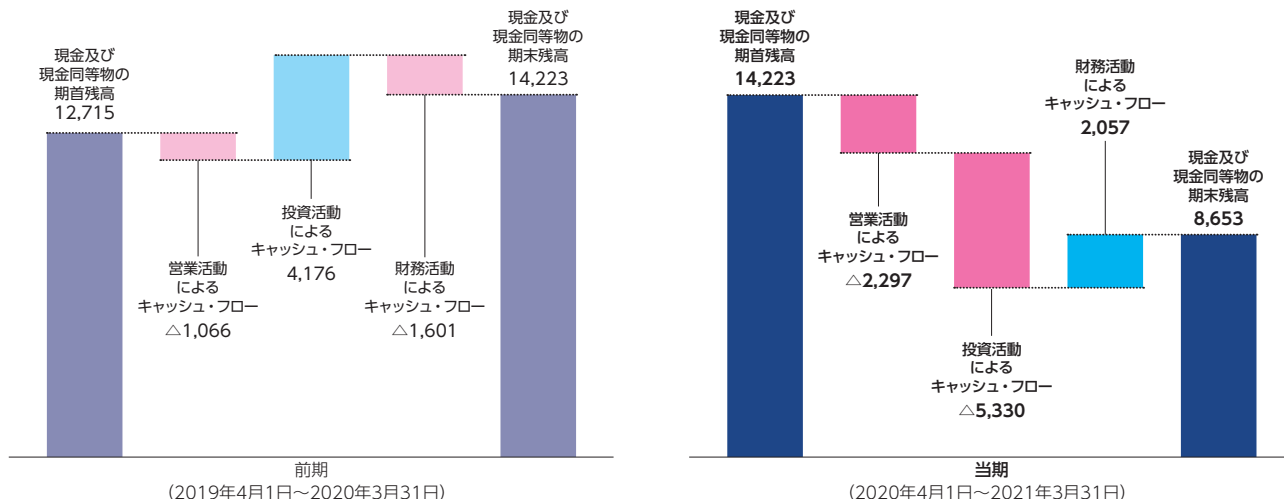
固定負債は、前期末に比べ59.3%増加し69億5千9百万円となりました。これは主に退職給付に係る負債が3億2千万円、繰延税金負債が4億1千万円減少しましたが、長期借入金が32億3千8百万円増加したことなどによるものであります。

### POINT 5 純資産

純資産は、前期末に比べ9.2%増加し363億8千3百万円となり、自己資本比率は57.8%となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



### POINT 6 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の減少は22億9千7百万円(前年同期比115.4%増)となりました。これは主に売上債権の増加88億8千8百万円、未収消費税の減少8億1千3百万円、法人税等の支払額17億7千5百万円、税金等調整前当期純利益53億2千2百万円などによるものであります。

### POINT 7 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は53億3千万円(前年同期は41億7千6百万円の増加)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出34億4千3百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出14億3千2百万円などによるものであります。

### POINT 8 財務活動によるキャッシュ・フロー

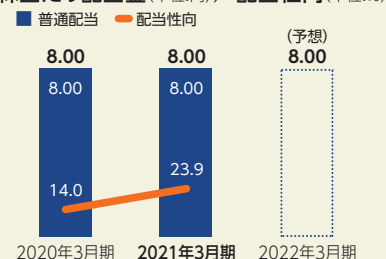
財務活動による資金の増加は20億5千7百万円(前年同期は16億1百万円の減少)となりました。これは主に長期借入金による収入37億3千万円、配当金の支払額9億5千2百万円、自己株式の取得による支出3億円などによるものであります。

## 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する安定した利益還元を経営における最重要課題のひとつと考え、安定した利益配当を継続して実施することを基本方針としております。当社は2021年4月1日、当社が存続会社となり、親会社であったOSJBホールディングス株式会社と合併しております。

当期剰余金の配当につきましては、2021年3月31日付のOSJBホールディングス株式会社最終株主名簿に記載又は記録された普通株主様又は登録株式質権者様に対して当社より、普通株式1株当たり8円の配当を実施させていただきました。

### 1株当たり配当金(単位:円) / 配当性向(単位:%)



## 株主アンケート結果

2020年12月から2021年2月に実施した「株主アンケート」におきましては、数多くの株主様よりご回答を頂戴いたしました。ご回答いただきました株主の皆様におかれましては、お忙しい中ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

なお、頂戴いたしました株主様からの貴重なご意見・ご要望等につきましては、今後の経営やIR活動等の参考にさせていただきたいと存じます。

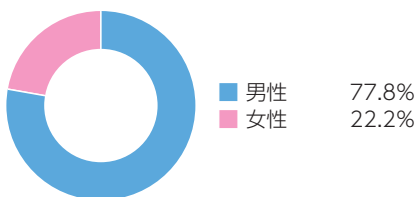
以下に、今回の「株主アンケート」の結果についてご報告させていただきます。



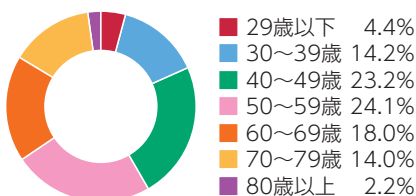
### 「株主アンケート」概要

アンケート方法	WEBでのアンケートを実施（「中間株主通信」に概要を掲載）
アンケート対象者	2020年9月30日時点 株主名簿記載の株主様
アンケート対象人数	20,394名
アンケートご回答数	685名
アンケートご回答率	3.4%

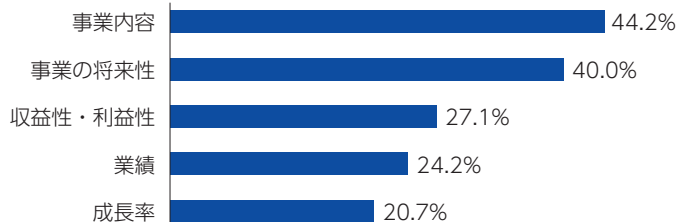
### ご回答いただきました株主様の性別



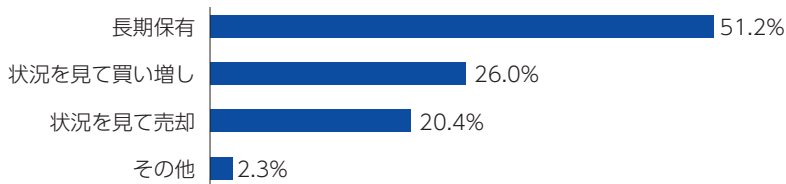
### ご回答いただきました株主様の年代



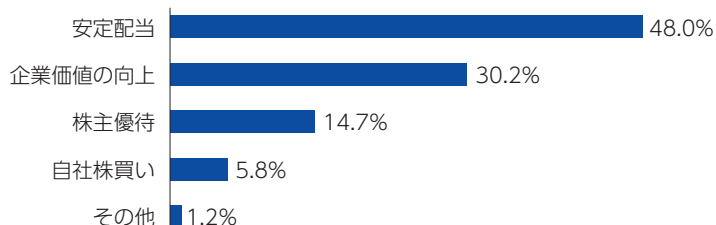
### Q 当社株式を購入された際、重視されたポイントをお選びください。（複数回答）(上位5位)



### Q 今後の当社株式に関して、あなたのお考えにちかいものをお選びください。




### Q 今後、株主還元として、当社に最も期待することは何ですか？(複数回答)



# 企業情報

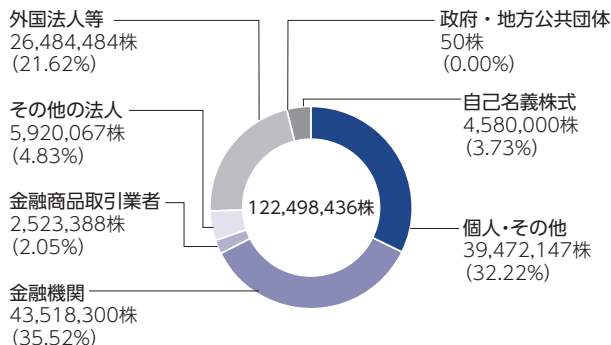
## 会社概要 (2021年4月1日現在)

商号	オリエンタル白石株式会社
	 <b>オリエンタル白石株式会社</b>
創業	1952年10月21日
資本金	10億円
従業員数	(連結)961名
事業内容	建設業、グループ企業の経営計画の立案ならびに管理
所在地	東京都江東区豊洲五丁目6番52号
URL	<a href="https://www.orsc.co.jp">https://www.orsc.co.jp</a>
上場証券取引所	東証 市場第一部
主要取引銀行	株式会社三菱UFJ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社みずほ銀行 三井住友信託銀行株式会社 株式会社りそな銀行

## 株式の状況 (2021年4月1日現在)

発行可能株式総数	138,809,400 株
発行済株式の総数	122,498,436 株
株主数	18,911 名

## 所有者別状況



## 取締役および監査役

代表取締役社長	大野 達也
取締役	正司 明夫
取締役	橋本 幸彦
取締役	遊津 一八
取締役	坂下 清信
社外取締役	加藤 英明
社外取締役	酢谷 裕子
社外取締役	森永 博之
取締役(監査等委員、委員長)	久米 清忠
社外取締役(監査等委員)	小島 公彦
社外取締役(監査等委員)	千葉 直人

## 大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	22,072,500	18.71%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,949,100	9.28%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	5,060,373	4.29%
NOMURA INTERNATIONAL PLC A/C JAPAN FLOW	3,288,004	2.78%
J.P. MORGAN SECURITIES PLC FOR AND ON BEHALF OF ITS CLIENTS JPMPSP RE CLIENT ASSETS-SEGR ACCT	2,000,100	1.69%
GOVERNMENT OF NORWAY	1,905,321	1.61%
日本証券金融株式会社	1,438,100	1.21%
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	1,399,600	1.18%
山内 正義	1,349,800	1.14%
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	1,332,784	1.13%

(注) 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除した株式数を分母に用いて算出しております。

## WEBサイトのご案内

QRコード

最新のIR情報など、様々な情報を提供しておりますので、ぜひご覧ください。

オリエンタル白石

検索

<https://www.orsc.co.jp/>



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 その他必要があるときは、取締役会で決議し、あらかじめ公告する一定の日 期末配当金 3月31日
公告方法	当会社の公告方法は、電子公告とする。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告は、日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 (同連絡先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 ☎ 0120-232-711

### 表紙写真について

名称：令和元年度 沖縄自動車道(特定更新等)  
億首川橋(下り線)他1橋床版取替工事  
工事場所：沖縄県国頭郡金武町字平川原(億首川橋)  
沖縄県名護市字許田手水原(幸喜橋)  
工期：令和2年3月18日～令和4年3月7日  
施工会社：オリエンタル白石・日本橋梁建設工事共同企業体



## 単元未満株式の買取制度について

当社では証券市場で株式を売買できる取引単位(単元株式)を100株とさせていただいており、単元未満株式(1~99株の株式)については、証券市場においては売買することができません。

そのため、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度(単元未満株式の買取請求)がございます。

単元未満株式の買取請求に関するお手続きの詳細については、お取引先の証券会社等(口座管理機関)にお問い合わせのうえ、お手続きください。また、特別口座に登録されている単元未満株式の買取請求をされる場合は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせのうえ、お手続きください。

### 単元未満株式の買取制度を利用

単元未満株式を当社に対して市場価格で売却する制度です。

具体例

50株

50株をお持ちの株主様

50株

買取制度をご利用 ↓ 当社に50株売却

現金化

¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥

 **オリエンタル白石株式会社**

〒135-0061 東京都江東区豊洲五丁目6番52号(NBF 豊洲チャンネルフロント)  
TEL.03-6220-0630 FAX.03-6220-0641 URL.<https://www.orsc.co.jp/>

**UD  
FONT**

 ミックス  
責任ある水資源を  
使用した紙  
www.fsc.org FSC® C022915

 **VEGETABLE  
OIL INK**

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。  
この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。